

令和2年度（2020年度）学校における校務用パソコン及びGIGAスクール構想端末の配置状況 No. 1

1 配置状況

小学校名	校務用（台）	児童用(GIGA)（台）	合計（台）
吹田第一	19	267	286
吹田第二	25	372	397
吹田第三	24	468	492
吹田東	20	309	329
吹田南	43	859	902
吹田第六	18	279	297
千里第一	34	770	804
千里第二	45	952	997
千里第三	44	1056	1100
千里新田	38	855	893
佐井寺	29	632	661
東佐井寺	27	565	592
岸部第一	19	258	277
岸部第二	29	610	639
豊津第一	52	1051	1103
豊津第二	28	546	574
江坂大池	22	451	473
山手	26	559	585
片山	43	886	929
山田第一	27	510	537
山田第二	28	484	512
山田第三	20	339	359
山田第五	13	219	232
東山田	49	1121	1170
南山田	49	1098	1147
西山田	22	452	474
北山田	24	534	558
千里丘北	32	667	699
佐竹台	33	758	791
高野台	17	260	277
津雲台	25	541	566
古江台	28	541	569
藤白台	32	742	774
青山台	16	233	249
桃山台	32	768	800
千里たけみ	23	376	399
小学校合計	1055	21388	22443

中学校名	校務用（台）	生徒用(GIGA)（台）	合計（台）
第一	45	816	861
第二	26	371	397
第三	20	288	308
第五	26	396	422
第六	31	456	487
片山	41	752	793
佐井寺	29	595	624
南千里	28	390	418
豊津	41	684	725
豊津西	25	400	425
山田	43	760	803
西山田	22	387	409
山田東	29	491	520
千里丘	46	857	903
高野台	20	347	367
青山台	20	321	341
竹見台	23	329	352
古江台	27	406	433
中学校合計	542	9046	9588
小・中合計	1597	30434	32031

※着脱式ノートパソコン：液晶部分とキーボードが分離でき、ノートパソコンやタブレットパソコンとしての活用が可能。平成30年1月配備。

1 利用状況（校務用機）

教員が使用している状況（令和2年度から導入の各教室設置のプロジェクタを利用する場合も含む）

利用例

1	小学校1年生の国語科の授業で、教員が固定式プロジェクタの電子黒板機能を活用して、ノート指導を行った。児童が使用するものと同じノートを撮影、プロジェクタで投影し、句読点や促音、拗音を書く位置などを示した。児童と同じ様式を使用し、視覚的に提示して指導したことで、児童も理解しやすく、正しく書くことができた。
2	小学校の朝学習の時間に、前年度の既習事項（漢字など）の復習に取り組む際、パワーポイントスライドを使用し、プロジェクタにフラッシュカード仕立てで提示した。児童はプロジェクタで大きく提示されるとともに、テンポよく学習を進めることができることから、楽しみながら復習に取り組むことができた。
3	小学校では、連絡帳に書く内容を予めデータで作成しておき、朝の時間や休み時間などにプロジェクタで映し出しておいた。教師は何度も書く必要がなくいつでも提示でき、子供たちも自分のタイミングで書くことができた。また、小・中学校共に、児童生徒が登校してから始業までにさせておきたい指示をプロジェクタで映し出しておくことで、子供たちは何をすればよいかが明確となり、登校後の動きがスムーズになった。特に分散登校中は児童生徒の入れ替わりの時間が慌ただしかったので、この方法は有効であった。
4	中学校1年生の体育科の授業で、教員が着脱式ノートパソコンのカメラ機能を使用して、器械運動をしている様子を撮影できるコーナーを設けた。撮影された動画が何秒後かに自動再生されるように設定しておくことで、生徒自身が自分の動きを客観的に確認することができた。また、生徒同士で改善点を話し合うことで、自分自身の課題等を把握し、試行錯誤しながらよりよい動きへと改善することができた。

2 利用状況（GIGAスクール構想による端末）

児童・生徒が使用している状況。

利用例

1	小学校2年生の生活科の授業で、1人一台端末のカメラ機能を使用して、観察する植物を撮影した。観察日記を書くにあたって、端末を手元に置くことで、小さな変化に気づくことができるとともに、その気づきを書き留めることが容易になった。
2	小学校4年生の算数科の授業で、授業支援ソフトウェアの機能を使用して、複合図形の面積を求めるにあたり、図や式、言葉など、それぞれの方法で納得解を見出そうとすることができた。その後、それぞれが自分の考えを伝え合うことで、多様な求め方、考え方があることに気づくことができた。
3	小・中学校共に、体育科の授業で、マットや跳び箱、鉄棒などの器械運動に児童生徒が取り組む際、自分のめあてを友達に伝えたいと、1人一台端末のビデオ機能を使用して互いの動きを撮影した。互いに撮影した動画を見せ合うことにより、相手のめあてに沿った具体的なアドバイスができるとともに、アドバイスを受ける側も映像と言葉が合わさることで、より理解しやすく、動きの改善に生かすことができた。
4	中学校2年生の英語科の授業で、授業支援ソフトウェアの機能を使用して、自身のスピーチを撮影した動画を教員へ提出した。自身のパフォーマンスを客観的に確認することができるため、何度も練習する姿が見られた。